



MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

# MCN REPORT

Vol.30  
2017.2



## Contents

ごあいさつ .....	1
トピックス .....	1・2
インタビュー .....	3
クラブ・サークル紹介 .....	4
大学の出来事 .....	5
お知らせ・コラム .....	6



トピックス	<b>連携協力協定病院ご紹介</b> .....	1
	<b>カリキュラムの変更について</b> .....	2
シリーズ	<b>教員インタビュー</b> .....	3



大学マスコット  
キャラクター  
「みかんちゃん」



三重県立看護大学  
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

# ごあいさつ・トピックス

## ご挨拶

副理事長兼事務局長 三井 清輝



早春の候 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この時期、大学では、後期一般入試や学位記授与式、新入生をお迎えする諸準備等の真最中です。学生の皆さんは、進級、学位取得と節目を迎えます。気分を新たに夢に向かってエネルギーを充足して欲しいものです。

さて、現在、理事長兼学長が不在ですが、本年4月には、菱沼典子（ひしぬまみちこ）新理事長兼学長（現在、聖路加国際大学理事兼教授）が誕生します。新体制での大学運営となりますので、どうぞよろしく願いいたします。

5月8日は、本学の開学記念日です。本年は、20周年という一つの区切りを迎えます。県内初の看護系大学として平成9年度に開学、平成13年度には県内初の看護系大学院を開設、平成21年度には公立大学法人に移行しました。この

20年間には、継続的な学部教育の充実、大学院専門看護師教育課程(母性看護学、精神看護学)の設置、地域交流センターにおける認定看護師教育課程(感染管理、認知症看護)の設置などめざましく発展してきました。この発展の原動力は、歴代学長の構想力や実行力です。本年の5月9日(火)には、開学20周年を記念して、記念式典、新学長の記念講演そして学長経験者による座談会を予定しています。未来へ向かって、本学の足元を固める機会にしたいと考えていますので、是非、多くの皆様のご来場をお願いいたします。

県立大学である本学は、県民の皆様の幸せを目指して、県内の保健医療福祉施設と連携し質の高い看護職者の養成、地域の看護職者の資質向上に全力で取り組んでまいります。日々のご支援に感謝を申し上げますとともに、引き続きご協力を賜りますことをお願いいたしましてあいさつとさせていただきます。

## 連携協力協定病院ご紹介(独立行政法人国立病院機構 三重病院)

当院は全国143の病院ネットワークである国立病院機構の一員として、「小さな子どもから高齢者まで社会的弱者を支える総合医療」を提供し、とくに、三重県内唯一の小児救急医療拠点病院として、周辺地域の小児救急医療を24時間体制で担っています。

看護部では、患者さんやご家族の皆様へ、三重病院でよかったと満足して頂ける看護を提供し続けたいと努めています。また、専門職業人としての自覚を持ち、患者さんやご家族がその人らしくあるように、確かな知識と技術に「こころ♥」を添えて最善の看護が提供できる看護師の育成に力を注いでいます。教育理念として『かけがえのない生命(いのち)の重さを知り、豊かな感性と倫理観を備え、自律した信頼される質の高い看護が提供できる看護職員を育成します』を掲げ、看護師一人ひとりが、看護のやりがいや喜びを感じながら成長し、キャリアアップできるよう支援しています。

今後も三重県立看護大学との連携・協力のもと、共に学び・共に成長できる看護師の育成を目指していききたいと思います。



# トピックス

## 平成29年度からの新カリキュラムについて

平成28年3月の学校教育法施行規則の一部改正や文部科学省からの3大ポリシーの策定及び運用に関するガイドラインの公表を踏まえて、本学のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの改正を行いました。また、これまでのカリキュラムの評価のために教員及び学生を対象としたアンケートを実施し、検討した結果、学生の能動的学習を重視した指導方法を積極的に取り入れ、学生の論理的な思考時間を確保することによって看護専門職者として自ら問題解決ができる能力をより育成することができるように、カリキュラムの改正を行うこととしました。

改正したカリキュラムでは、幅広い教養を身につけるため、より多くの選択科目を履修できるように教養基礎科目の配当年次を変更しました。また、専門支持科目と専門科目については、より効果的な学習ができるように科目の統合や新設、配当年次の変更を行いました。

なお、カリキュラムは入学年次に設定されているものが卒業時まで適用され、改正した新カリキュラムは平成29年度からの入学生に適用されます。



## 特別入試について

平成28年11月と平成29年2月に平成29年度特別入試を実施しました。特別入試は主に県内の高等学校に通う生徒の皆さんを対象に実施するもので、本学卒業後、看護職者として県内医療機関で活躍してもらうことを期待して行っています。11月の試験では、昨年度まで別日程で実施していた地域推薦入試AとBを同日日に実施するよう変更しましたが、大きな混乱もなく行うことができました。2月に実施した地域推薦入試Cでは、昨年度とほぼ同様の志願者数で、平成27年度入試から始まったこの入試も定着してきたように思われます。

本学の入試では、県内の看護職者を充実させるため、さまざまな改革を試みています。平成30年度以降の入試についても改革を継続していきますので、変更点などについてはその都度大学ホームページ等でご確認ください。



## 三重の保健医療を支える 未来の看護職者育成プログラム交流会

大学教育再生加速プログラム

平成28年12月10日(土)、「三重の保健医療を支える未来の看護職者育成プログラム交流会」を開催し、地域推薦入試A・Bによる入学予定者30名とその保護者の方にお越しいただきました。

この交流会は、三重県の保健医療を支える質の高い看護職者育成をめざし、入学後の学修の質向上を目的とした入学準備教育や三重の保健医療・修学資金についての説明のほか、看護職者としての将来像に対する具体的なイメージの形成を目的とした看護師・保健師についての話、県内の医療機関による自院紹介や個別相談が行われました。

参加者からは、

「入学前に県内の医療機関について知ることは、大学での勉強のモチベーション向上につながるのととてもいい機会だと思った」(入学予定者)

「看護系大学は、入学がそのまま職業につながっていくので、入学前の準備情報としてはありがたい。看護師以外の選択肢についても知ることができ参考になった」(保護者)といった声が寄せられました。



個別相談の様子

# インタビュー

## 教員インタビュー

宮崎 つた子 教授にお伺いしました。

**Q.** 先生のご専門は「小児看護学」ですが、どのような研究をされているのでしょうか。

**A.** 小児看護は、入院や自己管理をしながら通学している子ども、保育所や学校に通っている子どもなど、あらゆる健康状態にある子どもとその家族が対象になります。子ども達は、絶えず成長・発達を続け、その生活を維持するためには、親や保護者を必要としています。そのため、子どもが健康に育つために、親や保護者へどのような支援を行うか、ということが私の研究になります。私自身、臨床の経験を通して、多くの赤ちゃんとそのご家族に出会いました。小さく生まれた赤ちゃんが、他のお子さんより少しゆっくりと育っていく、そのような子どもの成長に一喜一憂されるご家族と関わってきたことが、研究のベースになっています。子育て支援は地域全体で取り組むことが重要です。そのため、医療機関や行政機関、教育機関など多職種が連携してチームを組んで行っています。子どもの心と体の発達、親の育児不安の軽減という視点では児童虐待防止にも繋がります。



**Q.** 「多職種が連携してチームを組む」というお話がありましたが、具体的にはどのような内容なのでしょうか。

**A.** 「健やか親子21」(※1)の課題にもありますが、親や養育者の育児不安や育児ストレスにも注目されるようになってきました。そのため、妊娠期から育児期まで切れ目のない支援を構築することを考えています。具体的には、地域医療・保健を育児支援という観点から関係機関や多職種が関わることで、身体的な異常の早期発見だけではなく、親子の心の状態を観察できる育児交流の拠点として機能させることができます。最近では、民間の育児支援団体につなげる体制も行われるようになってきました。さらに、障害や医療的ケアなど、常に支援が必要なお子さんに関しては、医療機関や行政機関に加え、養護学校や地域での訪問看護、レスパイト機能(※2)がある病院の医師や看護師、医療ソーシャルワーカー、理学・作業療法士、保育士などの専門職と連携を強化することが必要です。

(※1)厚生労働省が推進する子ども達を健やかに育てるための国民運動

(※2)乳幼児や障害児(者)などを在宅でケアしている家族の身体・精神的疲労を軽減するため一時的にケアの代替を行うサービス

**Q.** 研究の成果、目標は何でしょうか。

**A.** よくお母さん方にお伝えするのですが、例えば五つ子が生まれて、一番小さく生まれたお子さんが、20年後にも一番小さいかということ、それは分からないですよね。身体が立派になり、スポーツ万能になっているかもしれません。一人一人の子どもの発達には個人差があります。他のお子さんとは異なるのではなく、AちゃんはAちゃんの発達として育んでいけるように応援できる地域づくりを目指しております。今後も、様々な発達段階の子ども達の支援や妊娠期からの児童虐待防止活動を通して伝えていきたいと思っています。

# クラブ・サークル紹介

## ゆめたまご

障がい者の方の外出支援や子どもの集う場での学習支援などのボランティア活動をしています。



## バレーボール部

試合にも参加して、楽しみながらも真剣にバレーボールに取り組んでいます。バレーボールを通じて他学年の仲間もできました。



## 硬式テニスサークル FUN\*FUN

初心者が多く、遠足や合宿などテニス以外の活動も行っています。他大学との交流もあり、交友関係の幅が広いのが魅力です！



## Green Tea Club

学外から先生をお招きして、茶道の作法を教えてください。初心者でも楽しく学びながら活動しています。

## 国際交流サークル

タイやイギリスの看護学生の研修期間中、歓迎会を開催し、京都観光にも同行できます。英語が苦手な人でも、交流を通じて英語の勉強ができます。



## ひだまり

主に大学生協のお手伝いをしています。七夕には、「ゆびた祭り」を開催し、毎年たくさんの子ども達が遊びに来てくれます。



## 献血推進サークル 「さくらんぼ」

三重県学生献血推進連盟「みえっち」の設立にも携わり、献血の必要性などを伝え、献血への理解を広めるために活動しています。



## バドミントンサークル 「ミントん」

初心者が多く、体作りの一環として楽しんでいます。ひたすら打ち合う日もあれば、トーナメントを行う日もあります。

## ニコニコ コミュニケーションサークル

名前の通り、皆がニコニコできるようなサークルを目指しています。新入生歓迎会やお花見、キャンプなど楽しく活動しています！



## ハッピースポーツ サークル

ゆるく、楽しくをモットーに、その日集まったメンバーで意見を出し合ってやりたいスポーツを決めて活動しています。



## Campus CUBE

大学生が出演する自由なラジオ番組「Campus CUBE」に参加しています。三重県内の他大学の学生も参加するので、交友関係が広がります！



## アカデミックサークル

平成28年度に新しく設立しました！生理学の研究や学習のため、皆で勉強会を開いたり、忘年会など季節ごとの活動もあります。

# 大学の出来事

## 卒業研究発表会

平成28年12月23日(金)に、卒業研究発表会を開催しました。卒業研究は、研究計画書の作成からデータ収集と分析そして執筆まで、各自が自力で成し遂げる必要があります。教員が指導するとはいえ、主役となって研究を行うのは4年生です。そしてこの研究の締め括りとして4年生が約9か月間にわたる研究の成果を発表しました。それぞれの会場では、4年生の仲間や教員が熱心に報告に耳を傾け、議論を行いました。また来年度に卒業研究を行う3年生が熱心に報告に耳を傾け、時に質問をしていたことがとても印象的でした。4年生のみなさんにはこれからの看護の現場においても研究に関心を持ち続けながら活躍していただきたいと思います。また3年生にはこれから思う存分に自分の関心を伸ばしていってもらいたいと期待しています。



## 修士論文発表会

平成29年1月11日(水)に、平成28年度後期大学院看護学研究科修士論文発表会を開催しました。修士論文発表会は学位授与審議の過程の一部でもあり、修士論文あるいは特定課題の研究成果の発表と質疑応答をとおして基礎的研究能力や研究への姿勢を問われることとなります。今回、修士論文コース(3名)と専門看護師コース(1名)の学生4名がそれぞれの教育研究領域における研究成果を発表し、研究の意義・重要度、看護学の発展に資する点、研究手法や考察の適切性などに関する質疑に真摯に対応しました。



学生4名が学位取得を果たし、高度な専門知識と実践能力を備えた専門的職業人として、看護学の発展と探究に寄与していくことを期待しています。

## 看護管理者意見交換会



本学では、例年、看護の第一線でご活躍されている県内の看護管理者の方々をお招きして、本学の看護教育等への取り組みの説明と意見交換を行っています。本年度は、平成28年11月9日(水)に開催し、県内36施設の看護管理者の方々にお越しいただきました。

当日は、県内医療機関との連携や大学院などの本学の取り組みを説明するとともに、三重県健康福祉部医療対策局から、高山次長と清田看護師確保対策監にお越しいただき、県内の看護を取り巻く状況について解説をいただきました。

また、意見交換では、県内の看護職者の確保や育成における課題、本学に希望することなど、多くのご意見をいただき、今後の本学の方向性を考える上で大変有意義な意見交換会となりました。



# お知らせ・コラム

## 平成 28 年度 第 3 回公開講座

平成29年1月28日(土)に、NHK津放送局 NHK厚生文化事業団中部支局様との共催で、平成28年度第3回公開講座を開催し、当日は200名を超える方にご参加いただきました。

「人間らしさ喪失の世紀～超高齢化・IT化・認知症の波～」と題して、公益財団法人長寿科学振興財団 理事長の祖父江逸郎先生にご講演いただき、長寿社会がもたらす様々な問題について、ご自身の体験も交えて分かりやすくお話しいただきました。参加者からは、「96歳の先生からのお話に、とても感銘を受けました」「今日から生活の中で気をつけて実行したいと思えるようなお話があり、参考になりました」などのお声をいただき、盛況のうちに終了しました。



大学教育再生加速プログラム

## …………… 高校生のための …………… オープンクラス(授業公開)

平成28年12月20日(火)～平成29年1月6日(金)、「高校生のためのオープンクラス(授業公開)」を開催しました。期間中、18コマの授業を公開し、72名の高校生の皆さんに大学生と一緒に90分の授業を受講していただきました。オープンクラスでは、普段の大学の雰囲気や学生の様子、大学での学びの内容や授業の進められ方などを体験することができます。高校生の皆さんには、講義形式の授業に限らず、看護の専門科目の演習(グループワーク)にも参加していただきました。最初は皆さん緊張した様子でしたが、学生から難しい用語や専門知識について教えてもらいながら、ディスカッションの様子を間近で体験することができたことは貴重な機会となったようで、「学生さんたちは事前学習で自分の調べたことをしっかりまとめていて、それをもとに意見を出し合っていた。1つ1つのことを奥深くまで考えていてすごいなと思った」「私も自分の意見をしっかり持ち、それを出していけるようにしたい」などの感想をいただきました。



「母性看護方法Ⅰ」の授業の様子

## 健康コラム



成人看護学  
脇坂 浩 准教授

### 知ってるようで知らない感染予防

今年の冬もインフルエンザが各地で猛威をふるいましたが、「知ってるようで知らない」をキーワードに、身近な感染予防について考えてみましょう。

昨年度から、インフルエンザのワクチンにB型1種類が追加されてA型2種類、B型2種類が含まれています。ワクチンの効果はあがったので、次に重要なのはワクチン接種のタイミングです。ワクチン接種後2週間ほど経過しないと、感染予防に必要な抗体が十分にありません。また、その抗体が十分に保てる期間は5か月間程度です。インフルの流行は12～3月なので毎年11月頃に接種するのが望ましいといえます。

焼肉の時に感染予防の一工夫があります。牛、豚、鳥などの肉にはカンピロバクターがよく存在します。食中毒の70～80%はカンピロバクターが原因といわれています。ただ、熱には弱いのでしっかり焼けばお肉自体にカンピロバクターはいなくなります。安全に安心して美味しいお肉を食べるために、生肉を触るのはトングにして、十分に加熱して食べるときは自分のお箸でお肉を取るとするのがよいですね。



# 三重県立看護大学 開学20周年記念事業のお知らせ

三重県立看護大学は、来る5月8日をもちまして、開学20周年を迎えることとなりました。

これもひとえに皆様方のこれまでのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

つきましては、開学20周年を迎えるにあたり、次のとおり記念事業を開催いたします。

なお、今回の記念事業は、招待者の方、卒業生の方、在学生、教職員を対象としています。

**日時** 平成29年5月9日(火) 13時30分から(受付12時30分から) **場所** 三重県立看護大学 講堂

**内容** ・開学20周年記念式典 (13:30 ~ 14:00)

・開学20周年記念講演及び座談会 (14:00 ~ 16:00)

(1) 記念講演

演 題: 「看護の力」

講 師: 三重県立看護大学  
学長(4月就任予定)  
菱沼 典子

(2) 座談会

テーマ: 「三重県立看護大学の

あゆみとこれから(仮題)」

出 席 者: 前原 澄子(三重県立看護大学名誉教授、元学長)  
村本 淳子(三重県立看護大学名誉教授、元学長)  
菱沼 典子(三重県立看護大学 学長(4月就任予定))

コーディネーター: 清水 将之(三重県立看護大学理事、元あすなろ学園園長)



## 本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。

## 学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。

## 「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人

# 三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



広告

## 看護師募集

パート勤務も可能

地域包括ケア時代の看護を展開!



みえ医療福祉生活協同組合  
**津生協病院**

津市船頭町1721 担当: 総務課

電話 **059-225-7175**

E-MAIL: [kangaku@mie-hewcoop.jp](mailto:kangaku@mie-hewcoop.jp)  
HomePage: <http://www.tsucoop.jp>

病院見学  
随時受付中

院内保育所完備

お気軽に  
お問合せください

広告

# 県民共済

全国で2,105万件!

三重で29万件!

8人に1人の方がご加入!!

※2016年12月末現在/すべての共済事業の合計

## 0120-63-8160

営業時間/9:00-17:00 定休日/土・日・祝

三重県民共済生活協同組合